

(様式 1-3)

岩泉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 31 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	災害公営住宅整備事業①	事業番号	D-4-1
交付団体	岩泉町	事業実施主体 (直接/間接)	岩泉町 (直接)		
総交付対象事業費	744,000 (千円)	全体事業費	693,881 (千円)		
事業概要					
<p>中野地区の町営住宅は、今次津波により壊滅的な被害を受け流失した。これに加え、住宅再建の目途が立たない被災者への住宅セーフティネットを図るためアンケート調査結果に基づき、小本駅周辺地区 (約 40 世帯) に災害公営住宅を建設する。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 1 月 19 日) 本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業へ 37,700 千円 (国費 : H23 予算 32,987 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 744,000 千円 (国費 651,000 千円) から 706,300 千円 (国費 618,013 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日) 本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業【事業No.3 (基本国費率 3/4)】へ 2,705 千円 (国費 : H23 予算 2,366 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 706,300 千円 (国費 618,013 千円) から 703,595 千円 (国費 615,647 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日) 本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-5-2 災害公営住宅家賃低廉化事業[補助率変更分]【事業No.30 (基本国費率 2/3)】へ 9,714 千円 (国費 : H23 予算 8,499 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 703,595 千円 (国費 615,647 千円) から 693,881 千円 (国費 607,148 千円) に減額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>平成 24 年度 用地買収、建築設計 平成 25 年度 建築工事 (平成 26 年 3 月完成)</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災の津波により、沿岸部及び小本川沿いの小本、中野地区については、住宅を始め、小本支所、小本小学校、小本中学校等の公共施設が壊滅的な被害を受けた。このため、これらの住宅及び公共施設の移転を浸水区域外の三鉄小本駅周辺地区に集約し、コンパクトで機能的な「安心・安全なまちづくり」を考えている。その一環として小本駅周辺地区に災害公営住宅を再建する。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩泉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 31 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	災害公営住宅家賃低廉化事業	事業番号	D-5-1												
交付団体	岩泉町	事業実施主体 (直接/間接)	岩泉町 (直接)														
総交付対象事業費	109,132 (千円)	全体事業費		170,143 (千円)													
事業概要																	
<p>災害公営住宅を希望する被災者の生活を支援するため、家賃の低廉化を図る。 なお、当該事業は「岩泉町復興計画 (基本計画)」P12 の「1 生活の再建」「(1) 住宅の確保」に記載のある復興に向けての対策に基づいて行うものである。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 1 月 19 日) D-4-1 災害公営住宅整備事業① (小本駅周辺) が完了し事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、本事業へ 37,700 千円 (国費: H23 予算 32,987 千円) を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 109,132 千円 (国費 95,490 千円) から 146,832 千円 (国費 128,477 千円) に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 30 年 1 月 17 日) D-20-1 都市防災総合推進事業 (小本駅周辺) が完了し事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、本事業へ 20,606 千円 (国費: H23 予算 18,030 千円) を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 146,832 千円 (国費 128,477 千円) から 167,438 千円 (国費 146,507 千円) に増額。</p> <p>(全体事業費の変更) (平成 30 年 1 月 17 日) 近傍家賃等の精査結果を踏まえ、全体事業費を 251,138 千円から 238,650 千円に見直した。 また、管理開始後 5 年経過による補助率の変更に伴い、見直し後の全体事業費 238,650 千円から補助率変更分 (D-5-2) に相当する 69,205 千円を差し引いた 169,445 千円が全体事業費となる。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日) 平成 31 年度事業費として、事業が完了し事業費が確定した D-4-1 災害公営住宅整備事業① (小本駅周辺) の執行残 2,705 千円 (国費: H23 予算 2,366 千円) を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 167,438 千円 (国費 146,507 千円) から 170,143 千円 (国費 148,873 千円) に増額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>																	
当面の事業概要																	
<p>(平成 25 年度～31 年度)</p> <p>家賃低廉化に要する費用の補助</p> <table><tr><td>平成 25 年度分</td><td>7,048 千円 (森の越団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 26 年度分</td><td>33,164 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 27 年度分</td><td>34,554 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 28 年度分</td><td>35,307 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>実績</td></tr></table>						平成 25 年度分	7,048 千円 (森の越団地)	実績	平成 26 年度分	33,164 千円 (森の越団地・小本団地)	実績	平成 27 年度分	34,554 千円 (森の越団地・小本団地)	実績	平成 28 年度分	35,307 千円 (森の越団地・小本団地)	実績
平成 25 年度分	7,048 千円 (森の越団地)	実績															
平成 26 年度分	33,164 千円 (森の越団地・小本団地)	実績															
平成 27 年度分	34,554 千円 (森の越団地・小本団地)	実績															
平成 28 年度分	35,307 千円 (森の越団地・小本団地)	実績															

平成 29 年度分	32,017 千円 (森の越団地・小本団地)	実績
平成 30 年度分	25,992 千円 (森の越団地・小本団地)	見込
平成 31 年度分	2,061 千円 (小本団地)	見込
計	170,143 千円	

東日本大震災の被害との関係

東日本大震災により住宅を失った被災者に対する支援として、災害公営住宅入居者に対し、家賃負担を軽減する。

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩泉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 31 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	東日本大震災特別家賃低減事業	事業番号	D-6-1																								
交付団体	岩泉町	事業実施主体 (直接/間接)	岩泉町 (直接)																										
総交付対象事業費	30,000 (千円)	全体事業費	38,977 (千円)																										
事業概要																													
<p>災害公営住宅を希望する被災者の生活を支援するため、家賃の低減化を図る。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 30 年 1 月 17 日) D-20-1 都市防災総合推進事業 (小本駅周辺) が完了し事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、本事業へ 2,881 千円 (国費 : H23 予算 2,160 千円) を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 30,000 千円 (国費 22,500 千円) から 32,881 千円 (国費 24,660 千円) に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日) H31 年度事業費として、事業が完了し事業費が確定した D-20-1 都市防災総合推進事業 (小本駅周辺) の執行残から 2,602 千円 (国費 : H23 予算 1,951 千円) を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 32,881 千円 (国費 24,660 千円) から 35,483 千円 (国費 26,611 千円) に増額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>																													
当面の事業概要																													
<p><平成 25 年度~31 年度></p> <p>家賃低減に要する費用の補助</p> <table><tr><td>平成 25 年度分</td><td>950 千円 (森の越団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 26 年度分</td><td>6,268 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 27 年度分</td><td>6,456 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 28 年度分</td><td>6,936 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 29 年度分</td><td>6,271 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>実績</td></tr><tr><td>平成 30 年度分</td><td>4,810 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>見込</td></tr><tr><td>平成 31 年度分</td><td>3,792 千円 (森の越団地・小本団地)</td><td>見込</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>35,483 千円</td></tr></table>						平成 25 年度分	950 千円 (森の越団地)	実績	平成 26 年度分	6,268 千円 (森の越団地・小本団地)	実績	平成 27 年度分	6,456 千円 (森の越団地・小本団地)	実績	平成 28 年度分	6,936 千円 (森の越団地・小本団地)	実績	平成 29 年度分	6,271 千円 (森の越団地・小本団地)	実績	平成 30 年度分	4,810 千円 (森の越団地・小本団地)	見込	平成 31 年度分	3,792 千円 (森の越団地・小本団地)	見込	計		35,483 千円
平成 25 年度分	950 千円 (森の越団地)	実績																											
平成 26 年度分	6,268 千円 (森の越団地・小本団地)	実績																											
平成 27 年度分	6,456 千円 (森の越団地・小本団地)	実績																											
平成 28 年度分	6,936 千円 (森の越団地・小本団地)	実績																											
平成 29 年度分	6,271 千円 (森の越団地・小本団地)	実績																											
平成 30 年度分	4,810 千円 (森の越団地・小本団地)	見込																											
平成 31 年度分	3,792 千円 (森の越団地・小本団地)	見込																											
計		35,483 千円																											
東日本大震災の被害との関係																													
<p>東日本大震災により住宅を失った被災者のうち、特に住宅に困窮する低額所得者について災害公営住宅入居者に対し、家賃負担を軽減する。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>																													
関連する災害復旧事業の概要																													

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩泉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 31 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	5 22	事業名	都市防災総合推進事業		事業番号	D-20-1
交付団体	岩泉町		事業実施主体 (直接/間接)	岩泉町 (直接)		
総交付対象事業費	1,185,919 (千円)		全体事業費	1,118,823 (千円)		
事業概要						
<p>防災都市づくり計画において、浸水区域外である小本駅周辺地区を「岩泉町震災復興計画」にある防災体制の強化としての防災まちづくり拠点として位置づける。この防災まちづくり拠点に、避難路及び自動車による避難等に配慮した、防災滞留広場を整備することで安心安全な避難路の誘導を行う。また、拠点施設として、避難者をスムーズに受け入れるための施設や災害時における食糧の供給のための備蓄倉庫を備えた防災拠点施設を整備する。</p> <p>【第 4 回追加】 防災拠点施設の整備には既存建物（小本観光センター）の解体が必要であり平成 24 年度に解体撤去工事を行う。また、観光センター内の三陸鉄道小本駅は継続的な運営が必要であることから仮設駅舎の建設を行うものである。</p> <p>なお、防災拠点施設は、被災した役場支所のほか町立診療所も集約した複合施設として整備するものである。</p> <p>【第 5 回追加】 防災拠点施設（複合施設として整備）の概略設計が完了したところから、概算工事費を交付対象事業費に追加。</p> <p>防災拠点施設整備 工事費 667,054 千円（按分前 946,176 千円、按分率 70.50%）</p> <p>※既配分内容 ① 104,000 千円（事業 No. 5（国費率 1/3 部分）：調査費、まちづくり活動支援費、用地費） ② 1,026,553 千円（事業 No. 22（国費率 1/2 部分）：事業計画策定費、基本設計費、測量試験費、工事費等） 計（①+②）=1,130,553 千円</p> <p>【第 8 回追加】 防災拠点施設整備について、鉄道事業者との鉄道構造物近接工事の設計協議を受け工法等に変更が生じたこと、及び消費税率の引き上げによる消費税増額相当分を追加申請するものである。</p> <p>○工法等の変更による増 36,307 千円 山留め 5,710 千円（按分前 8,100 千円、按分率 70.50%） 杭工法 30,597 千円（按分前 43,400 千円、按分率 70.50%） ○消費税引き上げ分 19,059 千円 積算 667,054 千円 ÷ 1.05 × 1.08 = 686,113 千円 686,113 千円 - 667,054 千円 = 19,059 千円</p> <p style="text-align: right;">計 55,366 千円</p> <p>なお、当該事業は、「岩泉町復興計画（基本計画）」P24 に以下のとおり記載されている。</p> <p>【復興に向けての対策】 「浸水した公共施設の移転整備など、災害時の救援・復旧活動の拠点や安全な避難拠点として、一体的な機能を兼ね備えた施設整備を検討します。」</p>						

【事業No.5（基本国費率 1/3）】

（事業間流用による経費の変更）（平成 30 年 1 月 17 日）

本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業【事業No.3（基本国費率 3/4）】へ 27,045 千円（国費：H23 予算 18,030 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 104,000 千円（国費 69,332 千円）から 76,955 千円（国費 51,302 千円）に減額。

（事業間流用による経費の変更）（平成 30 年 1 月 17 日）

本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業【事業No.4】へ 3,240 千円（国費：H23 予算 2,160 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 76,955 千円（国費 51,302 千円）から 73,715 千円（国費 49,142 千円）に減額。

（事業間流用による経費の変更）（平成 30 年 1 月 17 日）

本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-5-2 災害公営住宅家賃低廉化事業[補助率変更分]【事業No.30（基本国費率 2/3）】へ 8,430 千円（国費：H23 予算 5,620 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 73,715 千円（国費 49,142 千円）から 65,285 千円（国費 43,522 千円）に減額。

（事業間流用による経費の変更）（平成 31 年 1 月 11 日）

本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-5-2 災害公営住宅家賃低廉化事業[補助率変更分]【事業No.30（基本国費率 2/3）】へ 25,454 千円（国費：H23 予算 16,969 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 65,285 千円（国費 43,522 千円）から 39,831 千円（国費 26,553 千円）に減額。

（事業間流用による経費の変更）（平成 31 年 1 月 11 日）

本事業完了し、事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、D-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業【事業No.4】へ 2,927 千円（国費：H23 予算 1,951 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 39,831 千円（国費 26,553 千円）から 36,904 千円（国費 24,602 千円）に減額。

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください

当面の事業概要

<平成 25 年度>

詳細設計、仮設駅舎建設・観光センター解体工事、防災拠点施設建設工事

<平成 26 年度>

防災拠点施設建設工事

東日本大震災の被害との関係

防災体制の強化として、防波堤、防潮堤、堤防など防災施設の復旧強化を進めながら、津波浸水域の防災対策など安全確保に努めるとともに、災害時の情報伝達システム、避難体制や支援体制の再構築、新エネルギー対策など、災害に強いまちづくりを目指す。そのためまず、住宅地及び公共公益施設は、浸水区域外に移転することを基本とする。

しかし、浸水区域の既存住宅については、被災者の強い要望から、減災対策として住宅の嵩上げを誘導することとしたが、災害危険区域等の指定には至らなく、避難施設、避難路の確保が課題となる。また、津波による避難の際に課題となった、高齢者や障害者など歩行困難者の自動車による迅速な方法といった点にも配慮した施設が求められる。

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号

事業名

交付団体

基幹事業との関連性

(様式 1-3)

岩泉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 31 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	10	事業名	漁業集落防災機能強化事業	事業番号	C-5-1
交付団体	岩手県	事業実施主体 (直接/間接)	岩泉町 (間接)		
総交付対象事業費	3,471,200 (千円)	全体事業費	2,449,302 (千円)		
事業概要					
<p>漁業集落及び漁業地域の復興を推進する。</p> <p>漁業集落の地盤嵩上げ、盛土</p> <p>漁業集落排水施設や生活基盤の整備</p> <p>高台への避難路等、防災安全施設の整備</p> <p>【第 4 回追加】</p> <p>漁業集落の移転先において、宅地分譲地の地盤改良・盛土整地を行うとともに、漁業集落道、上・下水道の生活基盤を整備する。さらに、集落内に緑地として公園整備を行う。</p> <p>被災地域では、津波からの安全対策として避難路を整備、集落の嵩上げを行う。また、小本地区では排水機能が脆弱であることから調整池を含む排水施設の整備を行う。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 30 年 1 月 17 日)</p> <p>本工事費等の額が 309,519 千円 (国費: 232,139 千円) 減となる見込であるため、釜石市 C-5-11 漁業集落防災機能強化事業 (両石) へ 309,519 千円 (国費: H23 繰越予算 232,139 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 3,471,200 千円 (国費: 2,603,400 千円) から 3,161,681 千円 (国費: 2,371,261 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 30 年 5 月 10 日)</p> <p>本工事費等の額が 134,742 千円 (国費: 101,056 千円) 減となる見込であるため、釜石市 C-5-5 漁業集落防災機能強化事業 (大石) へ 26,779 千円 (国費: H23 繰越予算 20,084 千円)、釜石市 C-5-9 漁業集落防災機能強化事業 (箱崎) へ 107,963 千円 (国費: H23 繰越予算 80,972 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 3,161,681 千円 (国費: 2,371,261 千円) から 3,026,939 千円 (国費: 2,270,205 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 30 年 10 月 10 日)</p> <p>本工事費等の額が 310,923 千円 (国費: 233,192 千円) 減となる見込であるため、山田町 C-1-1 農用地災害復旧関連区画整理事業 (復興基盤総合整備事業) へ 249,072 千円 (国費: H23 繰越予算 186,804 千円)、釜石市 C-5-1 漁業集落防災機能強化事業 (室浜) へ 16,842 千円 (国費: H23 繰越予算 12,631 千円)、釜石市 C-5-7 漁業集落防災機能強化事業 (佐須) へ 46,256 千円 (国費: H23 繰越予算 34,692 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 3,026,939 千円 (国費: 2,270,205 千円) から 2,714,769 千円 (国費: 2,036,078 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日)</p> <p>本工事費等の額が 265,467 千円 (国費: 199,100 千円) 減となる見込であるため、釜石市 C-5-11 漁業集落防災機能強化事業 (両石) へ 265,467 千円 (国費: H23 繰越予算 199,100 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,714,769 千円 (国費: 2,036,078 千円) から 2,449,302 千円 (国費: 1,836,978 千円) に減額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					

<p><平成 24 年度> 用地取得、測量・設計、用地造成、避難路整備</p> <p><平成 25 年度> 用地造成、集落道整備、避難路整備、排水施設整備</p> <p><平成 26 年度> 用地造成、集落道整備、避難路整備、水産飲雑用水施設整備、排水施設整備</p> <p><平成 27 年度> 水産飲雑用水施設整備、排水施設整備</p> <p><平成 28 年度> 緑地・広場整備、排水施設整備</p> <p><平成 29 年度> 緑地・広場整備、用地嵩上げ</p>							
<p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災による津波により、大きな被害を受けた漁業集落を浸水区域外に移転し、災害に強い漁業集落の復興を図るとともに、被災地に残ることを決めた住宅に対し、減災に向けての対策を講じる。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>							
<p>関連する災害復旧事業の概要</p>							
<p>※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。</p>							
<p>関連する基幹事業</p> <table border="1"> <tr> <td>事業番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付団体</td> <td></td> </tr> </table>		事業番号		事業名		交付団体	
事業番号							
事業名							
交付団体							
<p>基幹事業との関連性</p>							

(様式 1-3)

岩泉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 31 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	30	事業名	災害公営住宅家賃低廉化事業[補助率変更分]	事業番号	D-5-2
交付団体		岩泉町	事業実施主体(直接/間接)	岩泉町(直接)	
総交付対象事業費		0(千円)	全体事業費	70,106(千円)	
事業概要					
<p>災害公営住宅を希望する被災者の生活を支援するため、家賃の低廉化を図る。 なお、当該事業は「岩泉町復興計画(基本計画)」P12 の「1 生活の再建」「(1)住宅の確保」に記載のある復興に向けての対策に基づいて行うものである。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成 30 年 1 月 17 日) D-20-1 都市防災総合推進事業(小本駅周辺)が完了し事業費が確定したことから、その執行残を有効に活用するため、本事業へ 6,744 千円(国費:H23 予算 5,620 千円)を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 6,744 千円(国費 5,620 千円)となる。</p> <p>(全体事業費の変更)(平成 30 年 1 月 17 日) 管理開始後 5 年経過による補助率の変更に伴い、新たに 69,205 千円を平成 32 年度までの全体事業費として計上するものである。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成 31 年 1 月 11 日) H31 年度事業費として、事業が完了し事業費が確定した D-4-1 災害公営住宅整備事業①(小本駅周辺)の執行残 10,199 千円(国費:H23 予算 8,499 千円)を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 6,744 千円(国費 5,620 千円)から 16,943 千円(国費 14,119 千円)に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成 31 年 1 月 11 日) H31 年度事業費として、事業が完了し事業費が確定した D-20-1 都市防災総合推進事業(小本駅周辺)の執行残 20,363 千円(国費:H23 予算 16,969 千円)を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 16,943 千円(国費 14,119 千円)から 37,306 千円(国費 31,088 千円)に増額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>(平成 30 年度~31 年度) 家賃低廉化に要する費用の補助 平成 30 年度分 6,637 千円(森の越団地) 見込 平成 31 年度分 30,669 千円(森の越団地・小本団地) 見込 計 37,306 千円</p>					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災により住宅を失った被災者に対する支援として、災害公営住宅入居者に対し、家賃負担を軽減する。					

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号

事業名

交付団体

基幹事業との関連性